

杉戸町立西小学校

町のパン屋さんとのコラボパン販売



第5・6学年

特色

- 5・6年生の児童会のメンバー8人が、地元のパン屋さんと連携してコラボパンを作り、PTAバザーで販売した。売上金は、被災地への義援金として寄付した。
- パンのデザインや味は児童会のメンバーが提案し、パン屋さんへのプレゼンを行い、学校とパン屋さんとの連携で完成した。

児童の感想

- 初めてパンを考えたり、販売をしたりして、楽しく活動することができた。たくさんのお客さんがパンを買いに来てくれて、とてもうれしかった。
- 企画から販売まで行うことを、大人への第一歩だと思ってすごくドキドキしながら活動していた。

成果

- 児童が、主体的に活動に取り組むことができた。また、自分たちの活動の成果を、被災地のために役立てたいと願う奉仕の心、思いやりの心を育むことができた。
- 学校と地域の商店街の店との連携により、保護者や地域の学校への関心を高めることができた。